学び合い 認め合い 笑顔輝く 都田西っ子　　平成３０年５月３０日

学校だより　６月号

【 TEL 045-933-7652　FAX 045-937-0964 】
【 http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tsudanishi/ 】

感謝の気持ち「ありがとう」

副校長　安東　光

木々の葉が深緑となり、一足早い夏を思わせる強い日差しを受けて光り輝く季節となりました。職員室から休み時間の校庭の様子を見ていると、暑い日でも元気いっぱいに汗を流して外遊びを楽しむ子が多く、都田西小学校の子どもたちのたくましさを感じます。

私が、本校に着任して２か月となりました。この２か月間で私が感じたことは、学校を取り巻く地域の環境がとても落ち着いていること。子どもたちは、話の聞き方がとても上手で、素直で礼儀正しく真面目な子が多いということ。都田西小学校はボランティア活動が盛んで、地域とのつながりをとても大切にしていること。教職員のチームワークが良く、一人ひとりが生き生きと活躍していること。校内の環境は、いつもきちんと整えられ、広い立派な校舎と充実した特別教室に恵まれていることです。これからさらに都田西小学校の良さを見つけていきたいと思っています。

「感謝の気持ちを表す言葉『ありがとう』の反対の意味の言葉は何ですか。」と子どもたちに尋ねると、しばらく考えた後に「よくわかりません」と答える子が多いです。「『ありがとう』の語源は『有り難し』で、滅多に無いという意味です。だから反対の言葉は、『あたりまえ』なんだよ。」と話すと、子どもたちは、「なるほど」とうなずいてくれます。

私たちは、毎日の生活の中で１日に何回「ありがとう」という言葉を使っているでしょうか。毎日くり返していることは、「ありがとう」ではなく「あたりまえ」と感じて感謝の気持ちが薄れていることがあるかもしれません。掃除や洗濯をしたり、食事を作ったり、職場で一生懸命に働いたりする自分の家族や、日ごろお世話になっている地域の方たちに子どもたちは「ありがとう」と感謝の気持ちを言葉で表現できているでしょうか。言葉にするのは照れくさくて言わないとか、言葉にしなくても感謝の気持ちは伝わっているはずと思ってしまうことが多いですが、お互いに「ありがとう」というたった５音の言葉を交わすだけで、心が豊かになり、幸せになるすてきな言葉だと思います。

また、私たち大人が、子どもたちに対して「ありがとう」と感謝の気持ちを表さなければいけない場面も、本当はもっと多いのかもしれません。よく考えると自分が普段「あたりまえ」と思っていることのほとんどが、実はとっても「有り難い」ことだということに改めて気付くことが、私たちには必要なのかもしれません。

都田西小学校に関わる全ての児童、教職員、保護者や地域の皆様の間で今まで以上に「ありがとう」「ありがとうございます」という感謝の言葉が自然に多く交わされる学校風土が創られたらとてもすてきだなと思います。

今月も皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。